



平成26年3月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕（連結）

平成25年8月9日

上場取引所 東

上場会社名 セイコーホールディングス株式会社
 コード番号 8050 URL <http://www.seiko.co.jp>
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 中村 吉伸
 問合せ先責任者 (役職名) 経理部長 (氏名) 瀧沢 観 TEL 03-6739-3111
 四半期報告書提出予定日 平成25年8月13日 配当支払開始予定日 —
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有
 四半期決算説明会開催の有無 : 有 (証券アナリスト、機関投資家向け)

(百万円未満切り捨て)

1. 平成26年3月期 第1四半期の連結業績 (平成25年4月1日 ~ 平成25年6月30日)

(1) 連結経営成績(累計) (%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
26年3月期第1四半期	70,387	△ 0.3	2,848	0.0	2,902	102.1	3,454	267.0
25年3月期第1四半期	70,601	1.3	2,847	343.8	1,436	—	941	—

(注) 包括利益 26年3月期第1四半期 10,151 百万円 (- %) 25年3月期第1四半期 △ 1,970 百万円 (- %)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
26年3月期第1四半期	16.72	—
25年3月期第1四半期	5.15	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
26年3月期第1四半期	368,077	50,498	13.1
25年3月期	355,308	40,801	11.0

(参考) 自己資本 26年3月期第1四半期 48,111 百万円 25年3月期 39,013 百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
25年3月期	—	0.00	—	2.50	2.50
26年3月期	—	—	—	—	—
26年3月期 (予想)	—	0.00	—	5.00	5.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成26年3月期の連結業績予想 (平成25年4月1日 ~ 平成26年3月31日)

(%表示は、通期は対前期、四半期は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
第2四半期 (累計)	145,000	0.3	4,500	△ 25.9	3,000	△ 20.1	2,500	—	12.10
通期	300,000	5.7	10,000	81.1	6,000	85.0	5,000	△ 9.6	24.19

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 有

※ 注記事項

- (1) 当四半期連結結果計期間における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）：無
新規 — 社（社名） — 、除外 — 社（社名） —
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用：無
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更：無
 - ② ①以外の会計方針の変更：無
 - ③ 会計上の見積りの変更：無
 - ④ 修正再表示：無

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	26年3月期1Q	207,021,309 株	25年3月期	207,021,309 株
② 期末自己株式数	26年3月期1Q	343,745 株	25年3月期	342,120 株
③ 期中平均株式数(四半期累計)	26年3月期1Q	206,678,395 株	25年3月期1Q	182,905,036 株

※ 四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期報告書のレビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期報告書のレビュー手続を実施しています。

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、【添付資料】4ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報 (3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

【添付資料】

添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	
(1) 経営成績に関する説明	P. 2
(2) 財政状態に関する説明	P. 3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	P. 4
2. サマリー情報（注記事項）に関する事項	
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動	P. 5
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	P. 5
(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	P. 5
(4) 追加情報	P. 5
3. 四半期連結財務諸表	
(1) 四半期連結貸借対照表	P. 6
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	P. 8
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	P. 10
(継続企業の前題に関する注記)	P. 10
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	P. 10
(セグメント情報等)	P. 10

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第1四半期連結累計期間（2013年4月1日～6月30日）におけるわが国の経済は、アベノミクスへの期待による株高や円安に支えられた個人消費の持ち直しや設備投資の下げ止まりが見られ、景気の回復基調が続いております。世界経済は、米国では個人消費マインドが改善し、中国では消費者物価は安定した動きの中、緩やかながら政府目標に近いレベルで成長が続いております。一方、欧州では英国、ドイツでGDPが前期比でプラスに転じたものの、全体としてはマイナス成長となっています。

当社は「社会に信頼される会社であること」を引き続きグループ経営の基本理念とし、新たに当連結会計年度を初年度とする3か年計画である第5次中期経営計画を策定しました。当中期経営計画においては、「事業収益の最大化に向けてウオッチ事業を中核に事業ポートフォリオを再構築すると共に、経営基盤の質的強化を実現する」を基本方針としております。

また、当期より開示セグメントにつきましては、第5次中期経営計画の策定とともに当社における経営管理手法を変更したことにより、従来の電子部品等事業を半導体、水晶振動子、電池・材料、プリンタ、ハードディスクコンポーネントおよびカメラ用シャッター等を取り扱う電子デバイス事業と、データサービス、情報ネットワークシステム、電子辞書等を取り扱うシステムソリューション事業に区分しております。また、それぞれの事業の量的基準からウオッチ事業、電子デバイス事業およびシステムソリューション事業を報告セグメントとして開示し、クロック事業、眼鏡事業等は「その他」の区分に一括して開示しております。

当社の当第1四半期連結累計期間の連結売上高は、前年度の第4四半期に行った科学機器事業の売却の影響などもあり、前年同期より2億円減少し、703億円となりました。事業別では、ウオッチ事業は国内・海外で順調に売上を伸ばし、電子デバイス事業でも半導体の受注が回復するなど順調なスタートとなりました。一方で、システムソリューション事業は新製品開発の遅れなどにより伸び悩みました。連結全体で国内売上高は336億円（前年同期比11.5%減）、海外売上高は366億円（同12.8%増）となり、海外売上高割合は52.1%（前年同期は46.1%）となりました。利益面では、営業利益はほぼ前年同期と同レベルの28億円となりました。また、営業外収支が為替差益の計上などにより改善したことから、経常利益は前年同期を14億円上回る29億円となりました。関係会社株式の売却による投資有価証券売却益8億円を特別利益に計上する一方、賃借契約損失引当金繰入額6億円を特別損失に計上しました。これらにより法人税等および少数株主利益控除後の四半期純利益は34億円（前年同期比267.0%増）となりました。

【セグメント別の概況】

各セグメントの業績は次のとおりです。

① ウォッチ事業

ウォッチ事業の当第1四半期連結累計期間の売上高は、前年同期比60億円増加の322億円(前年同期比23.3%増)となりました。国内では、高価格帯商品である「グランドセイコー」、「クレドール」をはじめ、中低価格帯商品のレディースウォッチ「ルキア」やメンズウォッチ「ブライツ」など幅広い価格帯で売上を前年同期より伸ばしました。前期の9月に投入した世界初のGPSソーラーウォッチ「アストロン」も新製品が牽引するかたちで順調に売上を伸ばしております。また、高級品3ブランド(クレドール、ガランテ、グランドセイコー)を戦略的に展開する「セイコープレミアムウォッチサロン」を当期に入り新たに2店オープンし、合計24店舗の展開に拡大するなど差別化戦略にも引き続き力を入れております。海外では、米国でデパート向け売上が好調に推移し、欧州では英国、フランス、ドイツなどで売上を伸ばしました。また、アジアでは中国で売上を前年同期より落としましたが、台湾などで売上を伸ばし、円安効果の影響もあって、円貨換算後の売上はアメリカ、欧州、アジアそれぞれの地域で前年同期を大きく上回っております。ウォッチムーブメント販売は円安の進行により価格競争が激しくなる中、高付加価値商品の大手顧客向けを中心に売上を伸ばしました。

利益につきましては、売上高の増加にともなって営業利益は前年同期比3億円増加の23億円となりました。

② 電子デバイス事業

電子デバイス事業は売上高239億円、営業利益8億円となりました。分野別には、半導体は車載向け製品等を中心に受注が伸び、スマートフォン向け電池の売上も好調に推移しました。プリンタは新興国向け建材市場を中心に需要が拡大しております。ハードディスクコンポーネントもタイの洪水被害の影響を受けた前年同期より売上が回復しました。

③ システムソリューション事業

システムソリューション事業は売上高50億円、営業損失1億円となりました。決済端末関連製品の売上は新製品を中心に伸ばしましたが、モバイル関連は製品開発の遅れなどにより売上を落としております。

④ その他

その他に含まれる事業では、眼鏡事業、クロック事業は円安の影響により売上は増加し、また和光事業も本館を中心に売上を伸ばしました。一方、円安によるクロック事業のコスト増などにより営業損失1億円となっております。

(2) 財政状態に関する説明

【資産・負債・純資産の状況】

当第1四半期連結会計期間末の総資産は3,680億円と、前年度末に比べて127億円の増加となりました。現金及び預金が11億円、たな卸資産が40億円、繰延税金資産が15億円増加した一方、受取手形及び売掛金が16億円減少したことなどにより流動資産は57億円増加し、1,626億円となっております。固定資産では、有形固定資産が27億円、投資その他の資産が42億円増加した結果、合計で70億円増加し2,054億円となりました。

負債の部では、長短借入金が65億円、流動負債その他が22億円増加した一方、未払金が54億円減少したことなどで、負債合計では前年度末より30億円増加の3,175億円となりました。

また、株主資本は26億円増加し、その他の包括利益累計額合計も64億円増加したことで、純資産合計は前年度末と比べて96億円増加の504億円となりました。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

当第1四半期では営業外収支が想定以上に改善したことにより、第2四半期累計期間の経常利益および四半期純利益は前回予想を上回るとは思われますが、通期連結業績予想につきましては、前回通りとして変更いたしません。

修正後の業績見通しは以下のとおりです。

【第2四半期累計期間連結業績予想】

	今回業績予想	前回 (5月10日発表値)
売上高	1,450億円 (前年比 0.3%増)	1,450億円
営業利益	45億円 (前年比 25.9%減)	45億円
経常利益	30億円 (前年比 20.1%減)	25億円
四半期純利益	25億円 (前年比 —)	20億円

【通期連結業績予想】

	今回業績予想	前回 (5月10日発表値)
売上高	3,000億円 (前年比 5.7%増)	3,000億円
営業利益	100億円 (前年比 81.1%増)	100億円
経常利益	60億円 (前年比 85.0%増)	60億円
当期純利益	50億円 (前年比 9.6%減)	50億円

【通期セグメント別業績予想】

単位：億円

	売上高		営業利益	
	今回予想	前回	今回予想	前回
ウォッチ事業	1,350	1,350	100	100
電子デバイス事業	950	950	20	20
システムソリューション事業	280	280	10	10
事業別合計	2,580	2,580	130	130
その他	480	480	10	10
連結合計	3,000	3,000	100	100

(注) 連結合計はセグメント間の内部売上高消去など、連結調整後の数値です。

※ 上記の予想は、当社が現在入手している情報および合理的と判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

2. サマリー情報（注記事項）に関する事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）
該当事項はありません。
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用
該当事項はありません。
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
該当事項はありません。

(4) 追加情報

（連結子会社の事業年度等に関する事項の変更）

連結財務情報のより適正な開示を図るため、当第1四半期連結会計期間より、決算日が連結決算日と異なっていた連結子会社のうち、Seiko Instruments (H. K.) Ltd. 他6社については決算日を3月末日に変更し、Dalian Seiko Instruments Inc. 他5社については連結決算日に本決算に準じた仮決算を行った財務諸表を基礎とする方法に変更しております。

これらの変更により、当第1四半期連結累計期間は、平成25年4月1日から平成25年6月30日までの3ヵ月間を連結しております。なお、当該連結子会社の決算期変更に伴う損益については利益剰余金に直接計上しております。

3. 四半期連結財務諸表
 (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成25年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (平成25年6月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	42,830	43,938
受取手形及び売掛金	43,583	41,933
たな卸資産	60,638	64,653
未収入金	2,557	3,248
繰延税金資産	3,454	5,002
その他	5,258	5,391
貸倒引当金	△1,453	△1,557
流動資産合計	156,867	162,610
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物	101,285	102,588
機械装置及び運搬具	102,312	106,599
工具、器具及び備品	33,407	34,186
その他	3,567	3,760
減価償却累計額	△174,473	△179,054
土地	76,148	76,260
建設仮勘定	4,817	5,516
有形固定資産合計	147,065	149,858
無形固定資産		
のれん	9,541	9,367
その他	6,262	6,377
無形固定資産合計	15,803	15,744
投資その他の資産		
投資有価証券	28,191	32,433
繰延税金資産	1,786	1,894
その他	8,941	8,889
貸倒引当金	△3,348	△3,354
投資その他の資産合計	35,571	39,863
固定資産合計	198,440	205,466
資産合計	355,308	368,077

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成25年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (平成25年6月30日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	38,840	33,145
電子記録債務	3,333	8,954
短期借入金	54,065	59,611
1年内返済予定の長期借入金	65,352	68,179
未払金	14,833	9,337
未払法人税等	1,416	1,378
繰延税金負債	104	107
賞与引当金	2,003	1,594
その他の引当金	779	1,046
資産除去債務	16	16
その他	14,139	16,382
流動負債合計	194,885	199,754
固定負債		
長期借入金	79,571	77,721
繰延税金負債	4,946	5,485
再評価に係る繰延税金負債	4,218	4,218
退職給付引当金	19,974	19,542
その他の引当金	1,079	1,282
資産除去債務	338	339
負ののれん	189	94
その他	9,303	9,138
固定負債合計	119,621	117,823
負債合計	314,507	317,578
純資産の部		
株主資本		
資本金	10,000	10,000
資本剰余金	7,414	7,414
利益剰余金	22,301	24,907
自己株式	△134	△135
株主資本合計	39,580	42,186
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	△2,276	1,232
繰延ヘッジ損益	△332	△294
土地再評価差額金	7,617	7,617
為替換算調整勘定	△5,575	△2,630
その他の包括利益累計額合計	△567	5,925
少数株主持分	1,787	2,386
純資産合計	40,801	50,498
負債純資産合計	355,308	368,077

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書
(四半期連結損益計算書)
(第1四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自平成24年4月1日 至平成24年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自平成25年4月1日 至平成25年6月30日)
売上高	70,601	70,387
売上原価	48,524	47,133
売上総利益	22,076	23,253
販売費及び一般管理費	19,229	20,405
営業利益	2,847	2,848
営業外収益		
受取利息	57	26
受取配当金	116	67
為替差益	—	575
その他	503	620
営業外収益合計	677	1,290
営業外費用		
支払利息	1,272	1,055
その他	817	180
営業外費用合計	2,089	1,236
経常利益	1,436	2,902
特別利益		
投資有価証券売却益	—	857
受取保険金	1,145	—
特別利益合計	1,145	857
特別損失		
貸借契約損失引当金繰入額	—	613
災害による損失	356	—
投資有価証券評価損	256	—
その他	422	—
特別損失合計	1,035	613
税金等調整前四半期純利益	1,545	3,146
法人税等	353	△486
少数株主損益調整前四半期純利益	1,191	3,632
少数株主利益	250	178
四半期純利益	941	3,454

(四半期連結包括利益計算書)
(第1四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自平成24年4月1日 至平成24年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自平成25年4月1日 至平成25年6月30日)
少数株主損益調整前四半期純利益	1,191	3,632
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△2,674	3,291
繰延ヘッジ損益	△18	37
土地再評価差額金	283	—
為替換算調整勘定	△642	2,499
持分法適用会社に対する持分相当額	△110	689
その他の包括利益合計	△3,162	6,518
四半期包括利益	△1,970	10,151
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	△2,244	9,947
少数株主に係る四半期包括利益	274	203

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

セグメント情報

I 前第1四半期連結累計期間(自平成24年4月1日至平成24年6月30日)

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント						調整額 (注1)	四半期連結 損益計算書 計上額 (注2)
	ウォッチ 事業	電子部品等 事業	クロック 事業	眼鏡 事業	その他の 事業	計		
売上高								
外部顧客への売上高	25,894	34,817	1,604	5,545	2,738	70,601	-	70,601
セグメント間の 内部売上高又は振替高	267	581	332	17	459	1,659	△ 1,659	-
計	26,162	35,399	1,937	5,562	3,198	72,260	△ 1,659	70,601
セグメント利益又は損失(△)	1,987	1,188	△ 223	47	△ 107	2,893	△ 45	2,847

- (注) 1. セグメント利益の調整額△45百万円には、のれんの償却額△182百万円、セグメント間取引消去等449百万円、各報告セグメントに配分していない全社費用△312百万円が含まれております。全社費用の主なものは、親会社(持株会社)に係る費用であります。
2. セグメント利益又は損失(△)は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。
3. 本セグメント情報等は、当第1四半期連結会計期間からの区分方法の変更前の報告セグメントに基づいて算定したものであります。

II 当第1四半期連結累計期間(自平成25年4月1日至平成25年6月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント				その他 (注1)	合計	調整額 (注2)	四半期連結 損益計算書 計上額 (注3)
	ウォッチ 事業	電子 デバイス 事業	システム ソリューション 事業	計				
売上高								
外部顧客への売上高	32,035	22,965	4,948	59,948	10,438	70,387	-	70,387
セグメント間の 内部売上高又は振替高	226	937	92	1,257	1,052	2,310	△ 2,310	-
計	32,261	23,903	5,041	61,206	11,490	72,697	△ 2,310	70,387
セグメント利益又は損失(△)	2,374	848	△ 181	3,042	△ 107	2,935	△ 86	2,848

- (注) 1. 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、クロック事業及び眼鏡事業等を含んでおります。
2. セグメント利益の調整額△86百万円には、のれんの償却額△173百万円、セグメント間取引消去等376百万円、各報告セグメントに配分していない全社費用△289百万円が含まれております。全社費用の主なものは、親会社(持株会社)に係る費用であります。
3. セグメント利益又は損失(△)は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントの変更等に関する事項

当第1四半期連結会計期間より電子部品等事業を電子デバイス事業とシステムソリューション事業に区分しております。また、クロック事業、眼鏡事業等は「その他」の区分に一括して開示しております。

各報告セグメントに属する主要な製品及び商品は以下の通りであります。

事業区分	主要な製品及び商品
ウォッチ事業	ウォッチ、ウォッチムーブメント
電子デバイス事業	半導体、水晶振動子、電池・材料、プリンタ、ハードディスクコンポーネント、カメラ用シャッター
システムソリューション事業	データサービス、情報ネットワークシステム、電子辞書
その他	クロック、眼鏡レンズ・フレーム、高級宝飾・服飾・雑貨品、設備時計 他

なお、前第1四半期連結累計期間のセグメント情報を当第1四半期連結累計期間の区分方法により正確に算定するために多大な負担を要することなどから、当第1四半期連結累計期間のセグメント情報を前第1四半期連結累計期間のセグメント情報の取扱いに基づき以下の通り表示しております。

当第1四半期連結累計期間（自平成25年4月1日至平成25年6月30日）

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

（単位：百万円）

	報告セグメント						調整額 (注1)	四半期連結 損益計算書 計上額 (注2)
	ウォッチ 事業	電子部品等 事業	クロック 事業	眼鏡 事業	その他の 事業	計		
売上高								
外部顧客への売上高	32,035	27,913	1,679	5,868	2,889	70,387	-	70,387
セグメント間の 内部売上高又は振替高	226	904	554	18	473	2,177	△ 2,177	-
計	32,261	28,818	2,234	5,887	3,363	72,564	△ 2,177	70,387
セグメント利益又は損失(△)	2,374	699	△ 255	111	32	2,963	△ 115	2,848

- (注) 1. セグメント利益の調整額△115百万円には、のれんの償却額△173百万円、セグメント間取引消去等348百万円、各報告セグメントに配分していない全社費用△289百万円が含まれております。全社費用の主なもの、親会社（持株会社）に係る費用であります。
2. セグメント利益又は損失(△)は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。